

# 宗岡中だより



6月号 平成30年6月1日(金)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「天を指す 黄昏色の 麦畑」

校長 佐藤哲浩

この季節、春に植えた夏野菜の苗がぐんぐん育っています。私の家は畑に囲まれているため、これらの野菜の成長を肌で感じることができます。また、ほんの少し行ったところには麦畑があり、黄昏色に染まった小麦が収穫されるのを待っているかのように夏空に麦穂を伸ばしています。麦穂を英語で **spike** と言いますが、陸上や野球の爪が付いている靴を **spike shoes** と言うのは、麦穂のトゲトゲから付けられたのが由来のようです。



話は変わって、先日、仏カンヌ映画祭で是枝裕和監督の「万引き家族」がパルムドール（最高賞）を受賞するという朗報がありました。是枝監督の映画は「家族のつながり」を可視化した映画が多く、これまでも数多くのヒット作品を制作しています。この「万引き家族」は樹木希林が演じる「おばあちゃんの年金」に頼って暮らす三世代6人の物語です。作品の舞台は東京の下町に立つ狭くて古い平屋、ゴミ屋敷のように散らかり、床の汚れは来客が座るのをためらうほど。それなのに家族は和気あいあいと食事をし、寄り添って眠る。暮らしは厳しい、月額6万円やそこらの年金では賄えない分は、スーパーや雑貨店で万引きして補う。それぞれが心に深い傷を負いながらも、いたわりあって暮らす。しかし、ある事件をきっかけに家族はバラバラに引き裂かれ、それぞれが抱える秘密や願いが次々に明らかになる。日本人は裕福だという固定したイメージを持つ海外の人々を驚かせたことも受賞の一助になったのかもしれませんが。この作品はまだ劇場公開されていないため結末はどのようになるのでしょうか？公開日の6月8日以降に、いつか映画館に行こうと思います。

是枝監督の映画の中で、私が印象に残っているのは、「そして父になる」です。この映画のあらすじは次のような内容です。学歴・仕事・家庭と自分の望むものを全て掴み取ってきたエリート会社員（福山雅治）、自分は成功者だと思っていた彼のもとに、病院から連絡が入る。子供が生まれた直後、他の両親の子どもと意図的に取り換えられていた。6年間の愛情を注いできた息子が他人の子供だったと知り愕然とする。取り換えられた先の家族と会うようになり、2家族で病院を相手取って裁判を起こすとともに家族間で交流を持つようになる。実の息子が家庭で躱げられてないことを知り、改めてがっかりする。早めに交換した方がよいと弁護士からの薦めもあり、週末ごとにお互いの家に子供を泊まらせて慣らしていき、ついに交換することに。この作品の結末は、「血の繋がりが大切なのか？ それとも過ごした時間と環境が大切なのか？」、映画を観る人に委ねる作りになっており、答えは明らかになっていません。5年前に私がこの映画を観た時、「私が主人公だったら、どうするだろう？」と確固たる結論を出せなかったことを今でも覚えています。